



神戸市会自民党神戸議員団
坊池 正

ごあいさつ

平素から、神戸市会自民党神戸議員団に対しましての深いご理解と温かいご支援ご指導感謝申し上げます。平成26年度第1回定例市会が2月19日から6月31日まで開会され、平成26年度予算特別委員会 市民参画推進局では、我が会派を代表しまして、坊池正が質疑を行いました。

神戸市の財政状況は、平成24年度決算から2年連続で財源対策なしで、一般会計の実質収支の黒字を確保するなど、阪神・淡路大震災以降不断に取り組んできた行財政改革の成果がようやく現れてきました。また、平成26年度の市税収入については景気の改善基調と連動して増収が見込まれるなど明るい兆しも一部で見受けられるようになりました。

しかし、消費税増税の影響に伴う景気の腰折れリスクや世界経済情勢の不透明感などを考慮すると、今後の企業収益や個人所得の動向は流動的であり十分な見極めが必要な状況です。また、今後の社会保障に係る財政需要の動向によっては地方の所要一般財源が十分に確保される

かは不透明であることなどから、本市の財政状況は依然として厳しい状況にあると考えております。

神戸市会自民党神戸議員団としましても、地域社会や外部環境の変化を的確に見極め、本市の事務事業を積極的に見直すとともに、将来にわたって安定的かつ持続的な市政運営が可能となるよう、市民の皆様にも果たすべき役割を十分に認識し、聖域なき行財政改革に取り組んで参ります。今後とも変わらずのご理解、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

DV 被害者の自立支援について

◎ 坊池 正 (市民参画推進局) 2014.3.7

神戸市では、DV被害者の救済体制として、平成18年から「神戸市配偶者暴力相談支援センター」を設置し、被害者からの電話相談、面接相談やカウンセリングを行うとともに、自立に向けた情報提供、関係機関への同行支援などを実施してきている。

一方で、何とか加害者から逃れ自立生活を始めた方も、過去の被害経験の影響もあり、精神的な悩みを抱えつつ生活されていると思われる。こうした方々に対するアフターフォロー的な新たな支援策を始めると聞いているが、どのように取り組みを進めていくのか。また、自立生活していく上では、仕事の確保も必要かと考えているが、どのようにお考えか伺いたい。

最終的な自立生活を送れるようになるのが本来であるが、安全確保優先で安定した生活ができるよう支援をお願いしたい。

◎ 中塚市民生活部長

現在の取り組みとしては、シェルター等に逃れたDV被害者への居所確保、情報提供、福祉相談などを行い、DV被害者が一時避難先であるシェルター等を出られて、新たに地域で自立した生活を開始されるにあたり、専門知識を有する相談員が、DV被害者の孤立防止・不安解消などのため、一定期間必要な面談を行い、地域生活の定着をサポートを行っています。

また、DV被害者の就業は重要と考えており、サポートや面談を通じて、そろそろ就業が必要ということであれば、男女共同参画センター、母子家庭等就業自立センター、マザーズハローワークなどを紹介しながら、その前段階で被害から本当に立ち直れているのか判断したうえでつないでいく必要があると考えております。

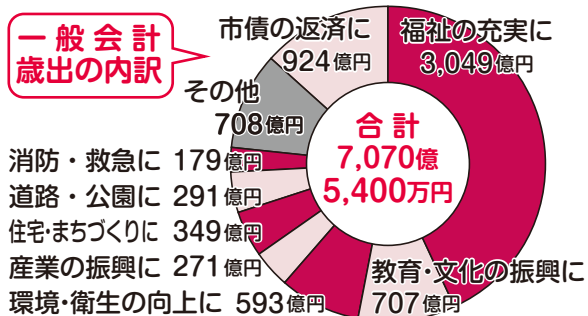


DV相談をしたい、避難したい!! SOS!!

神戸市配偶者暴力相談支援センター
(078)382-0037 (火~日 9:00 ~ 17:00)
兵庫県女性家庭センター
(078)732-7700 (毎日 9:00 ~ 21:00)

平成26年度予算案

一般会計	7,070億5,400万円
特別会計	6,910億9,700万円
企業会計	3,664億 600万円
合計	1兆7,645億5,200万円



一般会計を市民1人当たり計算すると、46万円の市民サービスを行っています

区役所業務の効率化について

◎ 坊池 正 (市民参画推進局) 2014.3.7

区役所業務の効率化については、神戸市でもこれまで一定の改善が進められてきているが、平成25年度事務事業外部評価においても、窓口業務の民間委託化を含めた業務プロセスの改善について「やや不十分」との指摘を受けている。

これからマイナンバーなどでOA化が進んできた際に、職員の適正配置など考えていただき、外部評価の結果も踏まえ、今後どのように効率化を進めていくのか、見解を伺いたい。

◎ 梶川参画推進部長

現在、窓口業務の定型的業務は、民間委託、諸証明自動交付機の設置、戸籍のOA化などににより、効率化を図っております。

また、市民サービスでは、引越しシーズンの3月最終日曜日と、4月第1日曜日の日曜開庁、毎月第2・第4木曜日は7時までの夜間開庁、年末開庁のほか、区民サービスディレクターの導入、また、証明発行コーナーを4区に設置しており、平成26年度は長田区、垂水区で設置し、市民サービスの向上に取り組んでいます。

今後、マイナンバーの導入準備とあわせて、マイナンバーを活用したコンビニ交付をあわせて、市民サービスの向上と業務の効率化の両立を目指して、適正で公正な業務を実施できるように検討を進めて参ります。



予算特別委員会 市民参画推進局
質疑を行う 坊池 正

パートナーシップ協定について

◎ 坊池 正 (市民参画推進局) 2014.3.7

平成17年度よりパートナーシップ協定の締結を進め、これまでに7つの地域において協定を締結し、地域と市が一緒になって地域課題の解決に向けて取組みを進めてきている。今年度末に2地区、北区大沢と西区神出において3年間の協定期間が終了となるが、3年間の協定期間では解決まで至らない課題も多くあり、必要に応じて継続した支援が必要と考えるが、26年度以降の支援についてどのように考えているのか伺いたい。また、有効事例の地域への波及を念頭に置いた取組みが必要かと思うがどうか。

◎ 大谷局長

パートナーシップ協定は、地域と市が、それぞれの役割を定め、お互いに理解・尊重し、ともに考え、ともに汗を流すことによって、地域課題の解決を図りながら、自律的な地域運営ができるよう、地域力の向上を図ることを目的としています。

26年度以降の神出町については、神出まち・里づくりの推進として、協定期間に解決できなかった地域課題解決のために、協働で取組みを行うコンサルタントを派遣し、引き続き指導・支援を行うほか、神出・里づくりの推進として、土地利用に関する地域連絡会議を開催し、休耕田を活用した花畑プロジェクトの推進を図るなど、このような支援を継続していきたいと考えている。

今後、これまでの事例成果を市のホームページだけでなく、協働と参画のプラットホーム通信、まちづくり関係事業に合わせたパネル展示など様々な機会を通じて広めるとともに、先進事例を紹介し、区役所の職員とも情報共有しながら、地域の実情に応じ、参考となる事例紹介や地域間交流などに努めていきたい。

シルバー世代を活用した農業支援について

◎ 坊池 正 (市民参画推進局) 2014.3.7

農家人口の減少や農業従事者の高齢化などによって農村地域を支える担い手の確保が難しくなっている。特に兼業農家における人手不足は深刻な状況である。

中高年齢者の生きがいや就業支援、シルバー人材センターの就業開拓推進といった観点から、農業支援の一翼を担えると考えが見解を伺いたい。

◎ 大谷局長

シルバー人材センターでは、農業関係の就業開拓に取り組んでおり、平成25年度1月末時点での西区における農業関係の就業実績は、神戸ワイナリー用ブドウ栽培、イチジクの収穫・芽摘み作業、トマトの水耕栽培などで西区86人が会員就業し、北区の22人とあわせて108人の会員就業となっています。

就業先の確保のために、農協、農家、農業法人等への訪問による就業開拓活動も行っていますが、収穫期、繁忙期には、求人に対して紹介の出来る会員が不足する状況も生じますが、就職・就業が6割程度にとどまっています。理由としては、農業への意欲は高いが、家庭菜園とは違うことからの本人の体調管理や、場所が少し離れているため雇用側にとっての交通費負担などがあり、実質の就業には改善を要するようなどころもあるが、今後、26年度の開催では、そのような反省をふまえ、このような事業を拡大していけるように考えていきたい。



秋の収穫作業



市民参画推進局にて 坊池 正

2010年12月にはインドネシアのジョグジャカルタという都市で海外初のBOKOMI(防災福祉コミュニティ)が結成され、神戸市で誕生した防災福祉コミュニティは世界へも広がっています。



防コミの訓練本部



是非、地域の防災福祉コミュニティに参加してください！！

訓練だが本部が設置され、各地区の状況が報告される

各地区では、救急処置などの訓練が行われる

パートナーシップ協定 認定7地区

- 西区：神出町
- 北区：大沢町
- 垂水区：高丸地域
- 須磨区：北須磨団地地区
- 長田区：野田北部地区
- 中央区：二宮地区
- 東灘区：六甲アイランド地区

「活力あふれる水と緑とやすらぎのまち 神出」パートナーシップ協定(主な事業)

- ・神出「桜」ネットワークの整備
- ・神出楽団の育成
- ・休耕田の活用(花畑プロジェクト)
- ・お茶山～雌岡山ハイキングルートの整備
- ・ため池周辺の環境整備
- ・土地利用関連
- ・地域の安全点検運動
- ・ゴミゼロ作戦



神戸市防災福祉コミュニティ

神戸市では阪神・淡路大震災の教訓をもとに平成7年度から神戸市防災福祉コミュニティ事業(防コミ)をスタートし、平成20年度には神戸市内全域の191地区で神戸市防災福祉コミュニティが結成されました。

「神戸市防災福祉コミュニティ」は、それぞれの地域の特色を活かした形で、隣近所での消火器の取り扱い訓練、子ども達に震災教訓を伝える取り組み、大規模な地震対応の総合訓練など災害活動につながる訓練を実施しています。

お問合せご相談は

神戸市議員

ぼういけ ただし

坊池 正

検索 神戸市会 生中継

本会議・委員会の坊池 正の質疑がインターネットでご覧いただけます！

主な経歴

- 昭和45年4月～平成19年1月末 神戸市消防局消防吏員 勤続37年
- 平成19年 神戸市議員に初当選
- 平成20年 都市消防委員会 副委員長
- 平成21年 文教経済委員会 副委員長
- 平成22年 港湾交通委員会 副委員長
- 平成23年 都市消防委員会
- 平成23年 外郭団体に関する特別委員会 理事
- 平成24年 福祉環境委員会 委員長
- 平成24年 大都市行財政に関する特別委員会 理事

現在

- ・神戸市議員 2期
- ・文教子ども委員会委員
- ・外郭団体に関する特別委員会 理事
- ・阪神水道企業団議会議員
- ・神戸市民生委員推薦会区会委員
- ・農業委員会委員 (H25.9～)

神出小、中学校元PTA会長
神戸市青少年センター民間指導員等